

古川橋駅周辺地区 未来ビジョン



令和5年3月

目次

1. 古川橋駅周辺のいま

| | |
|--------------|----|
| 1) 古川橋駅周辺の現況 | 2 |
| 2) ポテンシャルと課題 | 4 |
| 3) 関連計画 | 7 |
| 4) 取り巻く環境 | 10 |
| 5) まとめ | 12 |

2. まちの将来像

| | |
|-----------|----|
| 1) 街の将来像 | 14 |
| 2) 展開イメージ | 15 |

3. 実現に向けた取り組み

| | |
|------------------|----|
| 1) 取り組み施策と役割分担 | 18 |
| 2) 子どもエリマネのイメージ | 20 |
| 3) 整備方針図 | 23 |
| 4) イメージ図 | 24 |
| 5) 駅北交流広場の整備イメージ | 26 |

4. 進め方

| | |
|-----------|----|
| 1) ロードマップ | 30 |
| 2) 推進体制 | 31 |



1. 古川橋駅周辺のいま

- 1) 古川橋駅周辺の現況
- 2) ポテンシャルと課題
- 3) 関連計画
- 4) 取り巻く環境

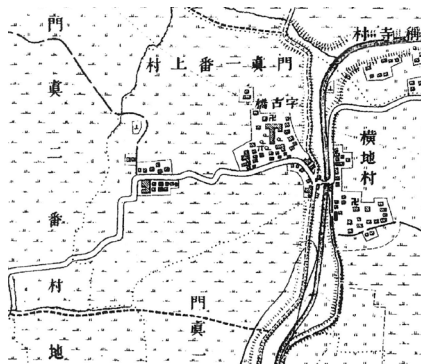
1) 古川橋駅周辺の現況

■ 立地特性

- ・京阪古川橋駅から大阪市内や京都市内へのアクセスが良好で、門真市駅に接続されている大阪モノレールの延伸も決定しており、今後さらに交通利便性が向上することが期待されている。
- ・本エリアの南側に、大阪府内に2つある運転免許試験場のうちの1つが立地しており、北大阪を中心に多くの人々が来訪する。
- ・本エリアは、京阪古川橋駅を中心に、市役所や市立総合体育館、市民文化会館（ルミエールホール）など門真市の都市機能が集積している。

■ 歴史的環境

- ・京阪古川橋駅の北東部には、近世に形成された市街地があり、神社や寺などが集積しており歴史的な環境が残っている。
- ・エリアの東側を南北に流れる古川に、地名の由来となっている古川橋がある。
- ・守口街道南ルートがエリアを東西に通って古川沿いに南下する。



明治19年（陸軍陸地測量図）



出典：門真市HP

■ 開発の経緯とまちの現状

- ・エリア全体として、高度経済成長期の急激な人口増加に伴い、まちの基盤となる道路等が未整備のまま木造賃貸住宅等が建設され、それらの老朽化により密集市街地を形成している。
- ・京阪古川橋駅北側は、狭隘な道路に老朽化した木造賃貸住宅等が集積し、またシャッター通り化した商店街や統廃合により廃校となった小中学校跡地、老朽化に課題がある市庁舎などの公共公益施設が立地しており、密集市街地が形成され、賑わいが失われつつある状況である。
- ・京阪古川橋駅南側は、昭和末期に都市計画決定された土地区画整理事業によって、大型ショッピングセンターや業務ビルが建設された一方、時間を経てまちの衰退化が進行しつつある。



古川橋駅南側の
メインストリート



木造賃貸住宅が
並ぶ密集市街地

I) 古川橋駅周辺の現況

■ まちづくりの動向

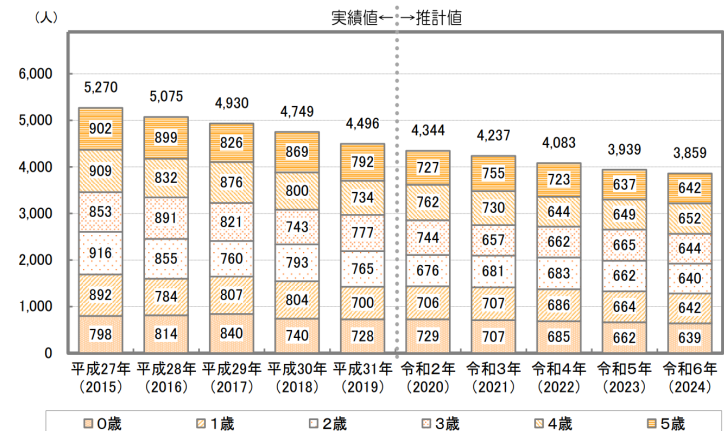
- ・平成15年、古川橋南北地域活性化協議会が発足。ラブリーフェスタを毎年開催。
- ・平成20年、門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会が発足。
- ・平成26年まちづくりのグランドコンセプト「アートフォレスト古川橋」を策定。
- ・平成30年、門真市・まちづくり協議会・中町地区共同整備事業組合・幸福東垣内西地区共同整備事業組合がまちづくり協定書を締結。
- ・令和2年、まちづくり協議会がキーコンセプト「子どもを中心とした創発システムによるエリアマネジメント」を承認。
- ・令和2年、古川橋駅周辺エリアプラットフォーム検討会設立。



ラブリーフェスタ2019

■ 子どもを取り巻く環境

- ・門真市の0歳から5歳までの子どもの人口は、平成31年で4,496人と、平成27年に比べ774人減少している。また、令和2年以降も減少が続く人口推計となっている。
- ・門真市の全世帯の約2割がひとり親世帯となっている。
- ・門真市では保育所整備が進み、平成31年4月1日時点に待機児童0となった。
- ・本エリアは、4つの小学校区、2つの中学校区で構成されている。



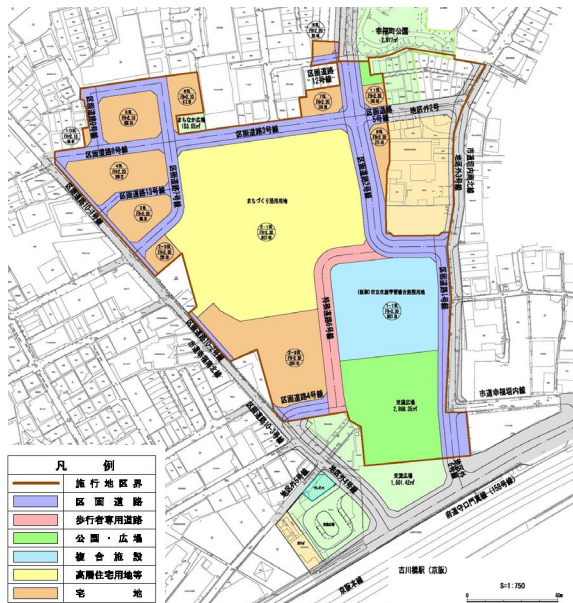
子どもの人口の推移と推計
出典：第二期子ども・子育て支援事業計画

2) ポテンシャルと課題

■ まちづくり

ポテンシャル

- ・京阪古川橋駅北側の旧第一中学校跡地について、土地区画整理事業が施行中でタワーマンション等の民間事業者の参画も決まっており、（仮称）市立生涯学習複合施設も立地することから、まちづくりの起爆剤として期待が高まっている。
- ・古川橋南北地域活性化協議会や門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会など、地域活動が盛んであり、エリアマネジメントへの展開の意向がある。
- ・「人や地域が温かく活気がある」「人情があふれる」「団結力がある」など「人の魅力」に関するイメージが強い。
- ・個店が多数集積しており、自営的な人やプレイヤーが多い。



開発が予定される旧第一中学校跡地

古川橋駅北側の開発計画
(令和4(2022)年6月時点)

課題

- ・消費は周辺の大規模店舗や都心部に流出しているため、京阪古川橋駅周辺の商店街はシャッター通り化しており賑わいが失われつつある。
- ・少子高齢社会が進展し子育て世代が流出する一方で、住宅のタイプのバリエーションが乏しくファミリー層に定住地として選ばれにくい状況にある。
- ・地域内での個人的なネットワークが強い一方で、外部からつながりにくく、ネットワークが固定化しており、地域コミュニティや地域経済を支える担い手不足が懸念されている。
- ・門真市の都市イメージとしてパナソニックや免許更新センターが強く、住むまちの魅力としての都市イメージに乏しい。
- ・エリアの東西を京阪本線が通っており、南北の回遊性が低い。
- ・店舗や病院など暮らしの施設は充実しているが、減少傾向にある。



旧第一中学校跡地活用整備事業の全体イメージ（出典：門真市HP）

2) ポテンシャルと課題

■ 子どもを取り巻く環境

ポテンシャル

- ・全小学校に放課後児童クラブが設置され、未就学の待機児童もゼロなど、子どもの保育環境が充実している。
- ・子どもLOBBYなど居場所づくり、子ども議会の開催、待機児童の解消など、行政として積極的に子どもの施策を展開している。
- ・子どもの見守り活動に多くの市民が熱心に参加されるなど、地域みんなで子どもを育てる気持ちが地域に根強くある。



古川橋駅北側の商店街



商業施設内にオープンした子どもLOBBY
出典：NTプランニングHP

課題

- ・所得の格差が子どもたちの経験や学びの機会の差になっている。
- ・家庭ごとや校区ごとなど、子どもをとりまくネットワークが分断されがち。
- ・子どもが自由に遊べる場所が少ない、放課後の居場所がコンビニしかないなど、子どもを取り巻くまちなか環境が貧困。
- ・子どもを取り巻く環境づくりの複合的かつ持続的な展開に向けて、さらなる市部局間の連携や民間の参画が求められる。

公民連携子どもの居場所
子どもLOBBY

| | | |
|--------------|----------|---------|
| 非認知能力向上プログラム | 子どもの居場所 | 保護者相談支援 |
| キャリア教育イベント | くつろぎスペース | |
| KODOMO LOBBY | 研修スペース | 相談スペース |

4月24日 OPEN

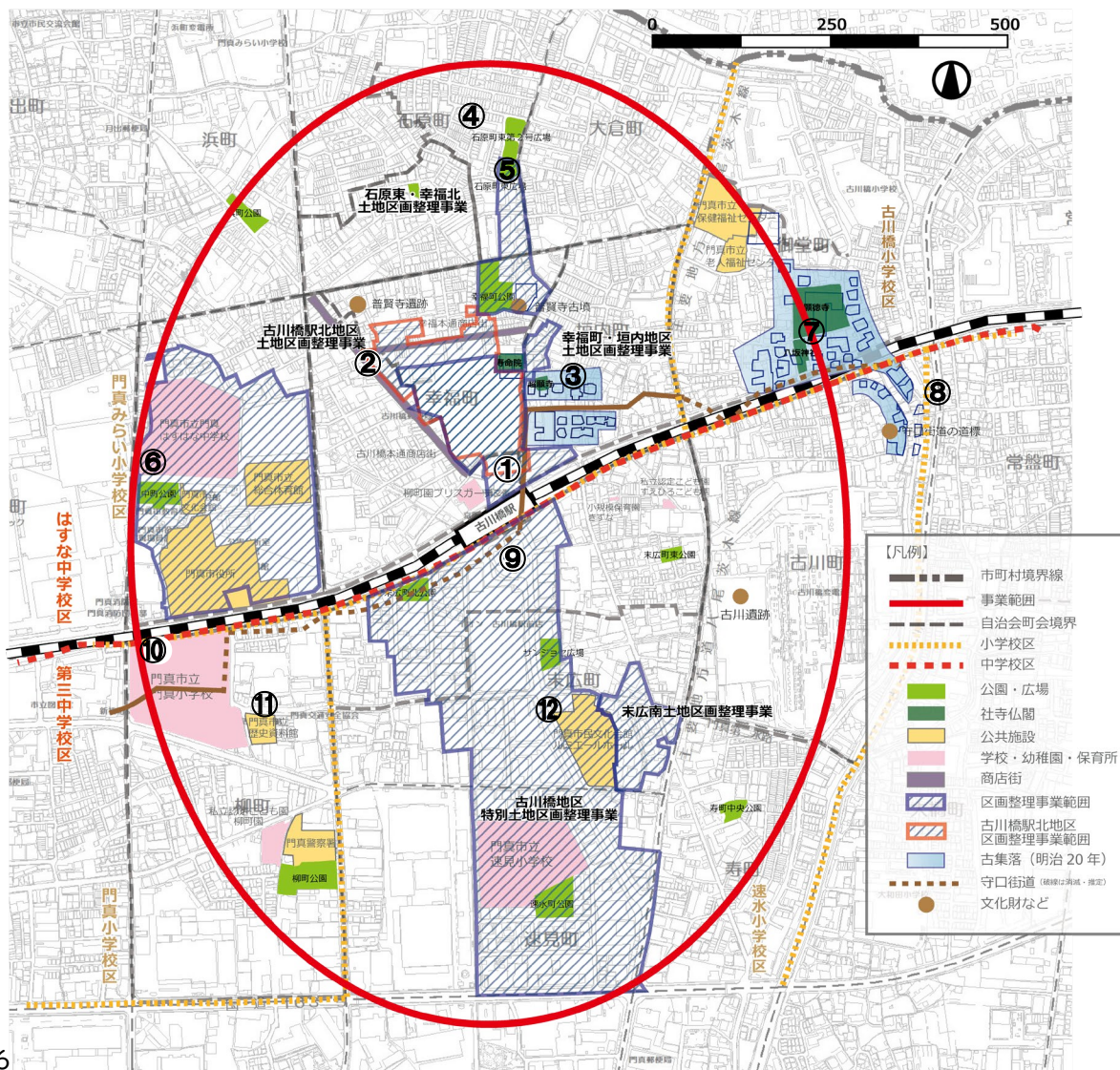
問い合わせ先
門真市こども部
こども政策課
☎06-6902-6095

Instagram
HAGOMA.LOBBY

ホームページ

2) ポテンシャルと課題

■ 地域特性マップ



①京阪古川橋駅前（北側）



②古川橋本通り商店街



③超願寺付近



④石原町密集エリア



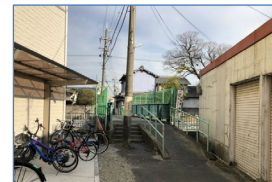
⑤石原町広場



⑥門真はすな中学校前



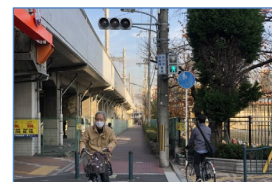
⑦八坂神社



⑧旧古川橋



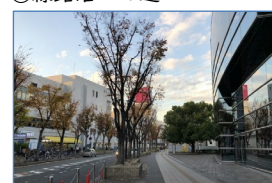
⑨京阪古川橋駅前（南側）



⑩線路沿いの道



⑪歴史資料館



⑫ルミエールホール前

3) 関連計画

■ 門真市第6次総合計画

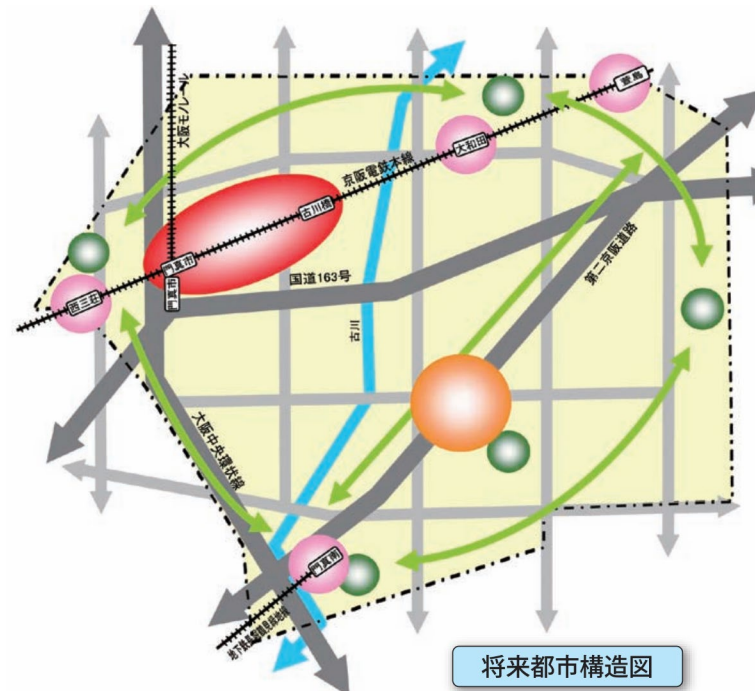
- ・将来像：人情味あふれる！笑いのたえないまち 門真
- ・まちづくりの方向性：子どもを真ん中に地域みんながながる健康で幸せな地域共生の「まち」に
働きながら、子育てしながら暮らしやすい便利で快適な職住近接の「まち」に



出典：門真市HP

■ 門真市都市計画マスタープラン

- ・将来都市像：市民とともに育む 魅力と活力あるまち 門真
- ・京阪門真駅～京阪古川橋駅周辺を中心拠点とし、門真市の玄関口にふさわしい商業・業務、その他生活サービス、居住機能などの都市機能の集積と併せて魅力と賑わいのある景観を形成する。
- ・北西部まちづくり整備ゾーン：京阪古川橋駅周辺については、「幸福町・垣内町・中町地区まちづくり」を核に、学校の統合や公益施設の集約化で空地となる市有地を最大限に有効利用するため公園・広場の確保に努めるとともに、駅前周辺の商業系及び市役所周辺の住宅系の土地利用を適切に誘導する。



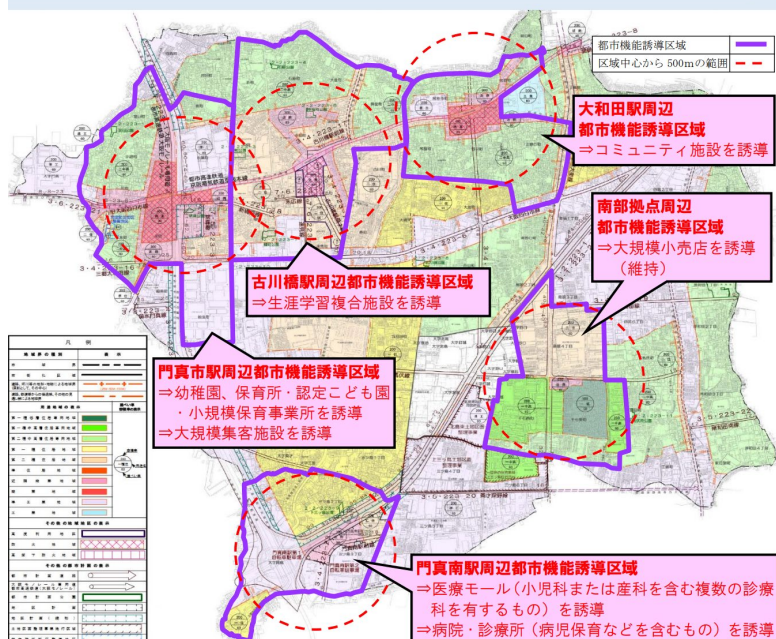
出典：門真市HP

3) 関連計画

■ 門真市立地適正化計画

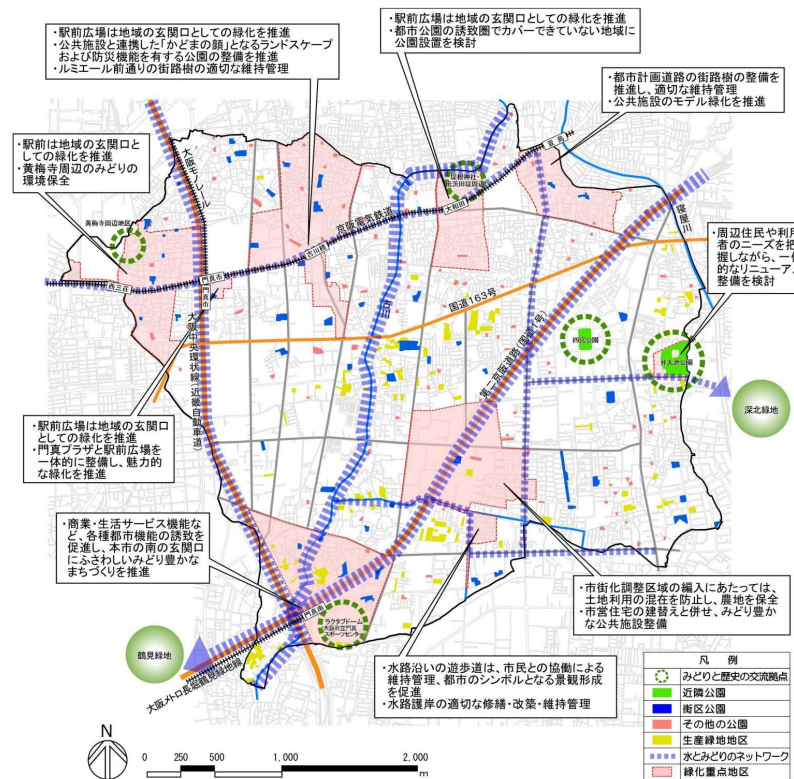
- ・ターゲット：住んで幸せを実感し、住みたい・住み続けたいまちに育て、子育て世代の定住性向上に資するようまち・ひと・しごとの好循環のスパイラルを生み出す。
- ・古川橋駅周辺都市機能誘導区域：都市機能の集積状況も市内で最も高く、市民文化会館（ルミエールホール）をはじめとした文化施設が集積するなど、文化的なイメージが構築されつつある。これらのイメージをより強固なものとするため、全市民が利用できる生涯学習機能を誘導する。

■ 都市機能誘導区域及び誘導施設



■ 門真市みどりの基本計画

- ・みどりの将来像：みどりが美しく 魅力あふれるまち 門真
- ・緑化重点地区：重点的に緑化の推進に配慮を加え、市民・事業者・行政が協働して緑を育む必要があり、モデル的な取り組みを行う地区
- ・当エリアでは、古川橋駅北側がかどまの顔づくり地区、南側が水とみどりのネットワークづくり地区に指定。



3) 関連計画

■ 門真市第2期子ども・子育て支援事業計画

基本理念：あふれる笑顔 こどもの輝く未来 かどま

- 1 一人ひとりの子どもの心豊かな成長を育む環境づくり
- 2 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
- 3 子育て家庭を地域のみんで支える環境づくり



出典：門真市HP

■ アートフォレスト古川橋（門真市幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会）

- ・ 子育て世代をターゲットとし、大人も楽しめ、子どもの成長とともにまちも一緒に育つ場所。また、子どもたちとシニアの方々とのコミュニケーションの場として、「ずっと住みたい」「訪れたい」と思うまちづくりを目指す。
- ・ 子どもを中心とした創発システムによるエリアマネジメントで、門真市・北河内地域の都市ブランドの向上を目指す。

ランドコンセプト

01

ART FOREST アートフォレスト 古川橋

生涯学習センター等のアカデミックなコンテンツを
街のブランドイメージ向上の核と位置づけ、
更に、魅力的な商業コンテンツを融合させる。
ARTを生涯学習センター・図書館・ガラスミュージアムから
本エリア全体に「にじみ出させる」ことにより
市民(多層世代)の文化生活向上を目指すだけでなく、
大阪や京都からの観光アクセス拠点を目指す。

行政施設
ART
ART
ART
商業
ART
住宅
ART
ART

4) 取り巻く環境

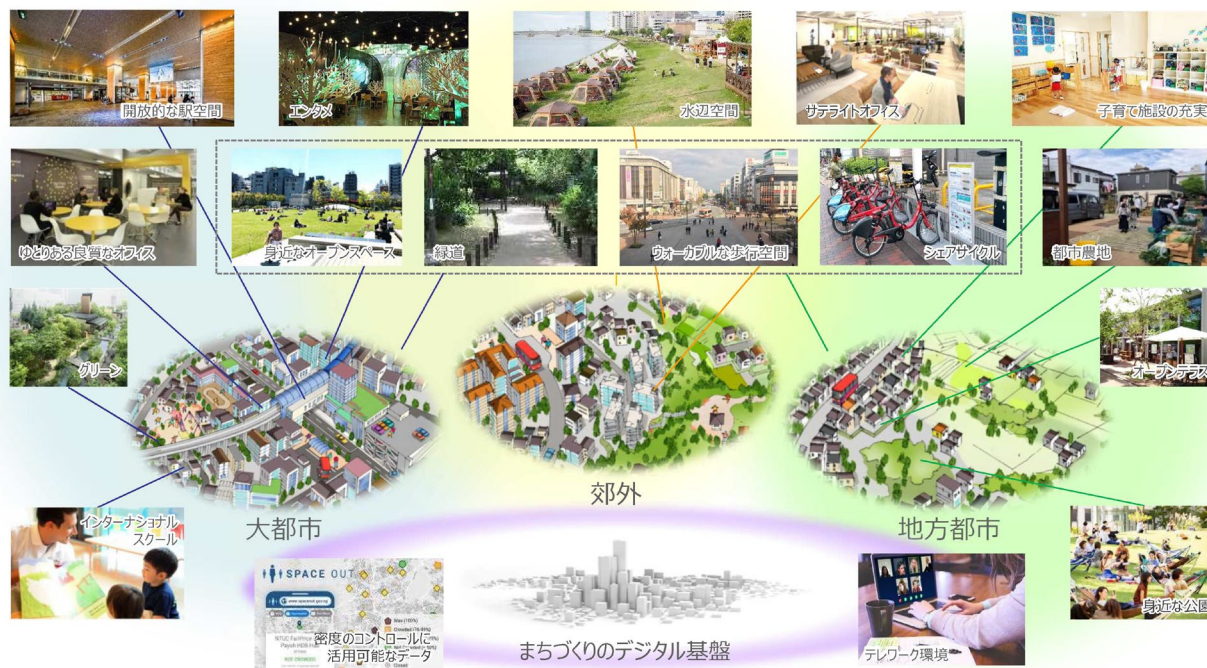
■ アフターコロナのまちづくり

人や機能等を集積させる都市そのものの重要性に変わりはなく、国際競争力強化やウォーカブルなまちづくり、コンパクトシティ、スマートシティの推進は引き続き重要。こうした都市政策の推進に当たっては、新型コロナ危機を契機として生じた変化に対応していくことが必要

- ・ 郊外は、住む、働く、憩いといった様々な機能を備えた「地元生活圏の形成」を推進
- ・ 様々なニーズ、変化、リスクに対応できる柔軟性・冗長性を備えた都市が求められる
- ・ 必要な公共交通サービスを提供する、まちづくりと一体となった総合的な交通戦略を推進
- ・ 自転車を利用しやすい環境の一層の整備が必要
- ・ 街路、公園、緑地、民間空地などまちに存在する様々な緑やオープンスペースを柔軟に活用
- ・ リアルタイムデータ等を活用し、ミクロな空間単位で人の動きを把握して、平時・災害時ともに過密を避けるよう人の行動を誘導

○人々の働く場所・住む場所の選択肢を広げるとともに、大都市・郊外・地方都市と、規模の異なる複数の拠点が形成され、役割分担をしていく形が考えられる。

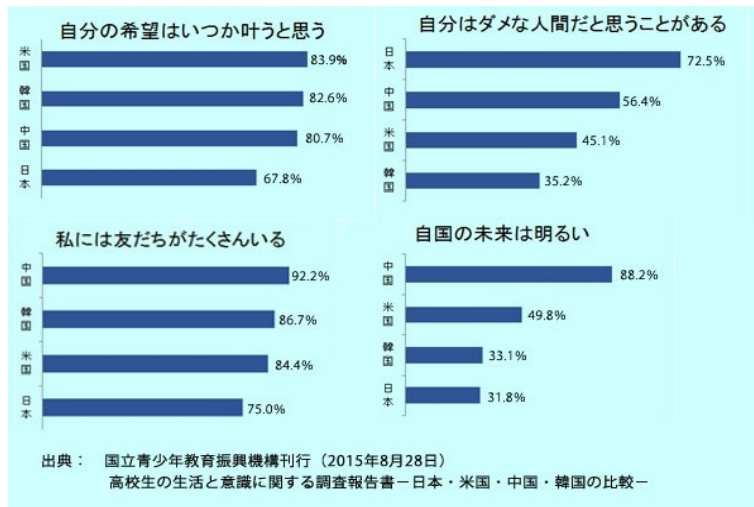
○複数の用途が融合した職住近接に対応し、様々なニーズ、変化に柔軟に対応できるようなまちづくりが必要。



4) 取り巻く環境

■ 世界に広がる子どもを中心としたまちづくり

- ・今の日本の子どもは、世界の子どもと比較して自己肯定感が低くなっている。
- ・1989年の国連「子どもの権利条約」策定を受け、1996年から、子どもたちが公益を大切に、社会に積極的に参画する姿勢を育むための子どもにやさしいまちづくり事業(=Child Friendly Cities Initiative)をユニセフが推進。全世界の70カ国以上が参加し、拡大している。
- ・日本ユニセフでは、2018年よりニセコ町、安平町、富谷市、町田市、奈良市の5自治体において日本モデルの検証をスタートし、2021年2月に完了した。



日本・アメリカ・中国・韓国の高校生の意識調査より
出典：日本ユニセフHP

■ 「子どもにやさしいまち」の認定（ユニセフ）

- ・ まちの決定に影響を与えることができる
- ・ 子どもたちが望む”まち”の在り方に関して意見を言うことができる
- ・ 家族に、コミュニティ、社会生活に関わる
- ・ 教育や保健などの基礎的サービスの供与に預かる
- ・ 安全な水や衛生施設を使うことができる
- ・ 搾取、暴力、虐待から守られる
- ・ まちを安全に歩くことができる
- ・ 友達と会い、遊ぶことができる
- ・ 植物や動物のための緑地がある
- ・ 汚染されていない環境で暮らす
- ・ 文化的社会的行事に参加する
- ・ 種族的出身、宗教的理由、あるいは収入の多い少ない、性別、そして障害のあるなしに関わらず、その町の平等な一員として如何なるサービスも受けることができる

子どもの権利条約（国連・1989年）

1. 生きる権利：全ての子どもの命が守られること
2. 育つ権利：もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援を受け、友達と遊んだりすること
3. 守られる権利：暴力や搾取、有害な労働などから守られること
4. 参加する権利：自由に意見を表したり、団体を作ったりできること

5) 古川橋駅周辺のいま まとめ

地域の現状・課題とポテンシャル

○郊外にあって高い交通結節性や移動利便性

- ・京阪本線や大阪モノレール、中央環状線にも近接
- ・平坦で徒歩や自転車による移動が容易

○住みやすさ・生活利便性

- ・行政・商業をはじめ主要な都市機能の集積
- ・運転免許試験場の立地による知名度
- ・人の魅力に関するイメージが高い

○密集市街地の広がり

- ・道路等が未整備で、老朽化した木造賃貸住宅等が密集する市街地が点在

○高齢化の進展や地域経済の衰退

- ・駅南は昭和期の土地区画整理事業で大型商業施設等が立地するが、駅周辺外の商店街も含め、衰退化や賑わい低下が進行
- ・子育て世代の流出、高齢化の進展など、生産年齢人口の割合が減少

○地域主体のまちづくり活動の展開

- ・幸福町・垣内町・中町まちづくり協議会がまちづくりコンセプトをとりまとめ
- ・駅を中心とした地域イベント「ラプリーフェスタ古川橋」や冬季のイルミネーション事業の実施

○子どもを支える地域コミュニティ

- ・子どもの見守りボランティアに多数登録があるなど地域で子どもを育てる意識が高い

上位計画・関連計画

○門真市総合計画

- ・まちづくり分野 施策5-1まちの顔づくり

○門真市都市計画マスタープラン

- ・魅力と賑わいのある景観を形成する「中心拠点」
- ・魅力あふれる拠点に人々が集うまち
- ・市の顔として区画整理事業等による都市基盤の整備と商業・業務・居住機能等の複合的な都市機能の集積、官民連携による賑わい景観づくり、公共施設の再生、公園広場の確保

○門真市立地適正化計画

- ・都市機能誘導区域：まちの顔として機能する文化機能の整備
(大規模な商業施設など重要な都市機能集積や駅周辺機能と連携した生涯学習機能の誘導)

○門真市みどりの基本計画

- ・緑化重点地区：重点的に緑化の推進に配慮を加え、市民・事業者・行政が協働して緑を育む必要があり、モデル的な取り組みを行う地区
- ・顔づくり、水とみどりのネットワークづくり、まちづくり事業に伴うみどりの充実を推進

○子ども・子育て支援事業計画

- ・基本目標3子育て家庭を地域のみんで支える 環境づくり：地域で支える子育て支援／子どもの未来応援施策の推進

まちづくりの動向・取り巻く環境

○駅北エリアにおける公有地を活用したまちづくり


- ・旧第一中学校跡地を有効活用し、幅広い世代が交流できる（仮称）市立生涯学習複合施設と交流広場が一体となった魅力と賑わいの形成
- ・複合的な都市機能の立地誘導を図る土地区画整理事業の実施
- ・西側エリアにおける市庁舎など公有地を活用した広場・公園、防災拠点の整備

○アフターコロナのまちづくり

- ・働き方や居住地選択の変化・多様化
- ・都心と郊外の歩み寄り、15分都市圏構想
- ・安全、安心、健康志向の高まり
- ・リアルコミュニケーションの価値増大
- ・移動手段の変化：徒歩
- ・モビリティの変化：徒歩・自転車利用、公共交通の利用促進、Maas、CASE
- ・環境意識の高まり、ゼロカーボン社会
- ・デジタル・IoT、スマート

○世界に広がる子どもの居場所づくり

- ・放課後児童クラブは親の就労支援のための施設ではなく子どもたちのための施設
- ・子どもが自由にまちを歩き地域住民とも交流できる
- ・まち全体を子どもの居場所に
- ・子どもが国の施策評価に参加



2. まちの将来像

- 1) 街の将来像
- 2) 展開イメージ

1) まちの将来像

《まちづくりの理念・目標》

ブランディング

都市イメージの向上・刷新

- ・発信力を高め選ばれるまちとなる
(住みたいまち/行ってみたいまち)
- ・シビックプライドの醸成
- ・エリア価値向上、都市の再構築

Well-being・ダイバーシティ

人々の幸福度の向上 共生の暮らしの実現

- ・安全安心、健康で快適なまちの形成
- ・個人の自己実現
- ・人のつながり・相互扶助
- ・社会活動の活発化

SDG's・レジリエンス

人・まちを育て次世代につなぐ 地域社会への貢献

- ・社会性と経済合理性のバランスする
サーキュラーエコノミー
- ・子どもがまちの可能性になる
- ・地域経済の活性化

都市性と郊外が程よく調和した、
住み/働きやすいまち

子どもがまちの可能性
になるまち

安らぎと発見を生むひとの
つながりがまちの誇り

社会性と経済性が両立した、
持続性のあるエリアマネジメント

■人が主役の魅力ある都市環境・生き生きとした都市風景

- ・駅周辺の顔づくり、魅力ある都市デザイン
- ・多様なアクティビティによる賑わい形成
- ・ウォーカブルな人中心の空間への再編
- ・エリアリノベーションの展開
- ・緑豊かで人と自然が調和した都市環境
- ・ニューノーマルに適したゆったりとしたライフスタイル

■安らぎやぬくもりと、刺激や発見を生むオープンな人のつながり

- ・人情味や地域性を継承した共助・共感のコミュニティ、安全・安心のネットワークの形成
- ・あらゆる世帯・世代が住みやすく、子育てしやすい住環境
- ・文化を活かした人材交流の場、学びや成長のしくみ
- ・外からでも参加しやすく、新陳代謝する多様性をもった活動主体・ネットワーク

■循環型の仕組み・ビジネス創出により、人と地域を次代につなぐ

- ・様々なことにチャレンジできる環境、まちのフィールド
- ・まちの将来を担う子供を主役にまちへの働きかけを促す仕組み、エリアマネジメントの展開
- ・地域に根差した生活関連ビジネスの創造
- ・データ活用や人のネットワークを生かした地域主体でのまちの課題解決や社会活動

2) 展開イメージ

まちの将来像を実現に向けて、エリアプラットフォームを中心に地域や行政など官民産学が一体となって取り組む仕組みを構築し、施策を推進

《実現に向けた戦略》

- こどもがまちの可能性になるしくみ・環境づくり（子どもを中心としたエリアマネジメント）
- ソーシャルキャピタルの強化・オープンネットワークの形成（多様な主体・人の参画・巻き込み）
- 人とモノの循環型のシステム・鎖をつなぐ（リサイクル・アップサイクル）
（世代をつなぐ、多様な人をつなぐ）
- IoTやSNSを活用した仕組みづくり（プロモーション・シティセールス、マッチング、ネットワーク形成など）
- 官民産学連携による取り組み

《取り組み体制のイメージ》

古川橋駅周辺地区まちなか再生推進協議会

多様な人材・主体の首席するプラットフォーム
（地域活動の監査・意見・提言）

（仮）
アトリア
サロン

子どもの
活動促進
社会的人的
ネットワーク支援

子ども
中心の
エリマネ
チーム

子どもの
権利主体の
活動

都市再生
推進法人
（仮）一般社団法人
アトリア


エリマネ事業
の実施・運営
経済性ノウハウ
の支援

《モニタリングによるPDCAサイクルの実践》

○KPI指標によるモニタリング

- ・ 門真市幸福度指数
- ・ 都市ランキング（住みたいまち、子育てしやすいまち、一人親家庭が住みやすい、など）
- ・ 歩行者通行量、イベント参加人数など（人と出会う・知り合いを増やす）
- ・ 地価動向 など

○実践を蓄積、効果を検証し、地域に還元する



3. 実現に向けた取り組み

- 1) 取り組み施策と役割分担
- 2) 子どもエリマネのイメージ
- 3) 整備方針図
- 4) イメージ図
- 5) 駅北交流広場の整備イメージ

1) 取り組み施策と役割分担-1

取組方針①

子どもを中心とした創発システムによるエリアマネジメントの展開

- ・子どもによるまち育ての企画運営や、社会学習の機会創出
- ・親の負担を軽減し子どもと家族の暮らしを豊かにする取り組み
- ・子どもが放課後や日常に安心して楽しく過ごせる居場所づくり
- ・高齢者や多様なまちの人々と触れ合える仕掛けを創ることで、子どもの多様な感性・経験を育む

実現に向けた取り組み（施策案と体制）

実施主体（案）

| | |
|---|-----------------------|
| ○子どもエリマネチームの設置とまち育ての企画運営 →子ども会議、まち提案・まちゼミなど | エリマネ組織 (子供エリマネチーム) |
| ○幼少期から親子の多様な交流を促進するプログラム →まちの保育園/まちなかコンサート/高齢者等との交流プログラムなど | エリマネ組織 (子供エリマネチーム) |
| ○まちなかの多様な学びの場・居場所（サードプレイスづくり）の充実 →放課後アフタースクール/宿題カフェ/まちなか社会実験など | エリマネ組織 (子供エリマネチーム) |
| ○エリアマネジメントの拠点づくり →エリマネセンター（民間提案施設）、子どもエリマネセンターの創出 | エリマネ組織 |

取組方針②

オープンネットワークによる多様なつながりの創出

- ・安全・安心を支える地域のセーフティネットとなるコミュニティ醸成
- ・多様な主体の参画により、まちなかでの気軽な関係性を構築し、共助や人材活用にも資する仕掛けづくり
- ・都市の魅力・情報発信にも寄与する地域活動の拠点づくり
- ・IoT・SNSなどのインフラを活用した連携・相互サポートの仕組みづくり

実現に向けた取り組み（施策案と体制）

実施主体（案）

| | |
|---|-------------------|
| ○コミュニケーションを活性化させる様々な地域活動の展開 →清掃・花の水やり/ヨガ・体操等の健康づくりや各種スポーツ/浴衣教室/折り鶴/地域イベント・まつり（ラブリーフェスタ等）など | エリマネ組織 各種地域団体等 |
| ○人々の多様な知識の共有、手軽なお手伝いサポートの仕組みづくり →大人のクラブ活動/料理教室/家事サポート/健康・美容/マルシェなど | エリマネ組織 各種地域団体等 |
| ○多様な繋がり・活動の拠点の設置 (地域活動、域外との交流、情報発信など) 建物暫定利用による試行等 | エリマネ組織 |
| ○地域で利用するアプリケーションの開発 →子ども見守りサービス/お助けマッチング/など | エリマネ組織 民間 |

1) 取り組み施策と役割分担-2

取組方針③

人と地域にやさしい循環型ビジネスや環境教育・人材育成の仕組み

- ・SDG'sや地域の安心コミュニティ形成等の社会課題解決に寄与し、経済と両立した循環型のビジネスの展開
- ・地域の生活者ニーズを捉え、家庭や暮らしを豊かにする生活関連ビジネスの展開
- ・大学や地域企業と連携したまちぐるみの人育ての仕組み

実現に向けた取り組み（施策案と体制）

実施主体（案）

| | |
|---|--------------|
| ○フードロス対策や食育 →フードロスを削減し、地域での流通を促進するビジネス →地域産品を活かした食育・門真もん市、フードドライブなど | エリマネ組織 民間 |
| ○地域企業等と連携した生活資材等のリサイクル・アップサイクルへの取り組み →衣服リユースを促進するコミュニティビジネス →クリエイティブ・リサイクルセンターの創出 | エリマネ組織 民間 |
| ○地域課題の発見と解決を考える環境教育の実施 | エリマネ組織 民間 |

取組方針④

ウォーカブルな人中心の空間への転換による賑わいや回遊性の向上

- ・利用者・滞在者の快適性向上に資する空間、居心地がよく歩きたくなる空間の創出
- ・地域活動が表出するパブリックスペースの整備や都市デザイン誘導による駅周辺の顔づくり

実現に向けた取り組み（施策案と体制）

実施主体（案）

| | |
|---|--------------|
| ○公共空間等を活用した賑わい創出への取り組み →社会実験等の実施/コーディネート調査/官民連携事業など | エリマネ組織 行政 |
| ○既存ストックの活用や新規整備による魅力的で活力ある都市活動を支える歩行者空間の創出・まちなかウォーカブルの推進 →都市空間創出・再整備事業（北駅前広場、南駅前広場・サンジョゼ広場等） | 行政 |
| ○利活用への配慮や快適性向上に資する沿道敷地と一体となった通りのデザイン、グレードの高い都市空間・街並みの形成 →ストリートデザイン検討/ファニチャー整備/など | 行政 民間 |

取組方針⑤

持続的な暮らし・働きの場となる市街地の再生とレジリエンスの向上

- ・基盤・環境整備とソフト施策の連携した活力ある市街地の再生、密集市街地の解消、エリアリノベーションの展開
- ・密集市街地の解消による安全・安心な市街地の形成
- ・みどりの充実や生物との共生など、五感に響く生命や自然の融合したいのちの感じられる環境デザインの展開

実現に向けた取り組み（施策案と体制）

実施主体（案）

| | |
|--|--------------|
| ○空き家や未利用地の活用に向けた仕組みづくり →空き家や遊休地の借上げ、活用斡旋の取り組み | エリマネ組織 民間 |
| ○土地区画整理事業、住宅市街地総合事業の促進による基盤整備と市街地環境改善 | 行政 |
| ○まちづくりガイドラインの作成と環境整備誘導 →緑化促進・緑地整備/バイオフィリックデザイン/サウンドスケープ/生物多様性/ウェルネスデザインなど →屋外広告物や街並み景観、夜間景観の誘導 | 行政 民間 |

2) 子どもエリマネのイメージ

| | 子ども×まち事業 | | 変化 |
|--|--|------------|---|
| 子ども小①  0歳～3歳 | 幼少期からの多様な交流 | 知 考 行 伝 | |
| | 赤ちゃん交流 (赤ちゃん先生) | 知 考 行 伝 | ・子育て中の母親の社会参加 ・幼少期からの多様な人との触れ合い ・赤ちゃんをきっかけにした命の学び 受容 |
| 子ども小②  4歳(年少)～ 8歳(小2) | 多様な交流プログラム (ハッピーの家、幼老複合施設) | 知 考 行 伝 | ・老若男女、国籍を含めた多様な交流による相互理解、 元気・思いやりの循環 受容 |
| | まちの保育園 (まちの保育園) | 知 考 行 伝 | ・子どもと大人、「まち」のための、 コミュニティの場としての保育園 ・違いを大切にしながら、「分けない」豊かさ 受容 |
| 子ども中  10歳(小3)～ 15歳(中3) | 生きた社会循環 | 知 考 行 伝 | |
| | クリエイティブ リサイクルセンター (レミダ) | 知 考 行 伝 | ・クリエイティブなりサイクルによる資源の循環 ・地域内のアップサイクルによる学び 自律 |
| 子ども大  13歳(中1)～ 18歳(高3) | 学校外の学び・居場所の充実 | 知 考 行 伝 | |
| | 放課後アフタースクール (放課後アフタースクール) | 知 考 行 伝 | ・多様な市民先生との出会い、 プログラム体験による多様な学び。 受容 自律 |
| 子ども大 | 職を通じた探求学習 (探求学習エイス쿨) | 知 考 行 伝 | ・職業を通じた探求学習による仕事・ 社会・まちへの理解 受容 自律 |
| | まちなか社会体験 (ちびっこうべ、トライやるウィーク) | 知 考 行 伝 | ・社会体験による仕事・社会・まちへの理解 ・企業の社会貢献 受容 自律 |
| 子ども大 | Teen's サードプレイス (茅野市Chukoらんどチノチノ、tette) | 知 考 行 伝 | ・まちの中の居場所 ・まちとつながる、まちを知る場所 受容 自律 |
| | 子どもエリマネ | 知 考 行 伝 | |
| 子ども大 | まち提案／まちゼミ (茅野市ばくらの未来プロジェクト／KIITO クリエイティブゼミ) | 知 考 行 伝 | ・承認・自己実現の場 ・まちへの主体的な関わり方を体験 ・まちを良くする新しい事業が生まれる 受容 自律 |
| | 子ども会議 (茅野市Chukoらんどチノチノ) | 知 考 行 伝 | ・承認・自己実現の場 ・まちのマネジメントに主体的に関わりを体験 受容 自律 |

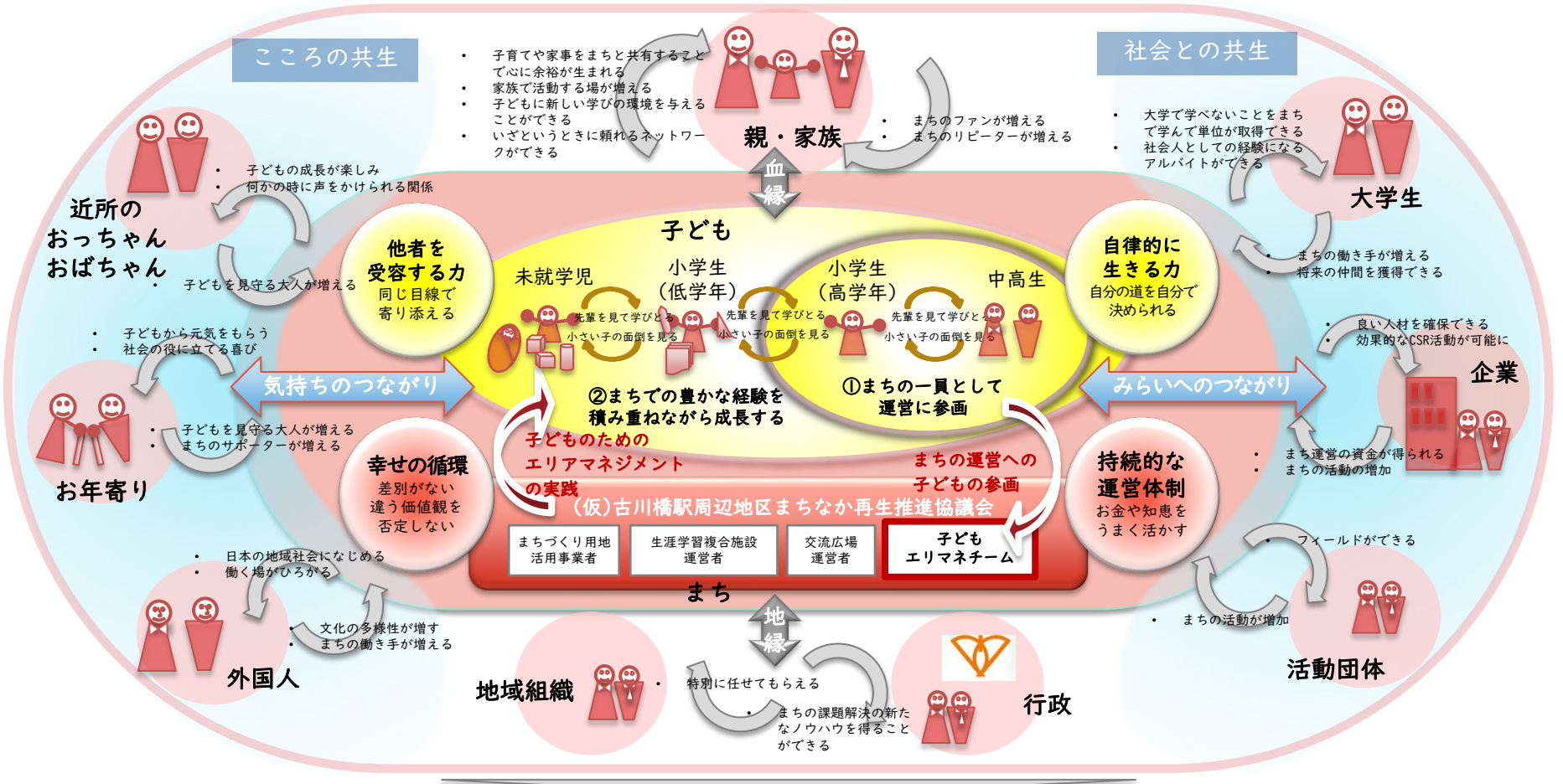
2) 子どもエリマネのイメージ

| 子ども×まち事業 | 運営に必要な人材・職能 | ハード・空間 | 大人や社会の関わり |
|---|--|---|---|
| 幼少期からの多様な交流 | | | |
| 赤ちゃん交流 (赤ちゃん先生) | <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃん先生ママディレクター 地域とつなぐコーディネーター | | <ul style="list-style-type: none"> 地域の学校 (小学校～大学) 近くに住む高齢者や近隣の高齢者施設 社員教育したい地域の企業 |
| 多様な交流プログラム (ハッピーの家、幼老複合施設) | <ul style="list-style-type: none"> プログラムマネージャー | <ul style="list-style-type: none"> 複合施設 交流広場 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の幼稚園・保育園 地域の高齢者・施設 外国人留学生、在住者 |
| まちの保育園 (まちの保育園) | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティコーディネーター →地域と子ども・保護者・保育者の橋渡しする役割 | <ul style="list-style-type: none"> 保育園 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者 地域団体 (町会) |
| 生きた社会循環 | | | |
| クリエイティブ リサイクルセンター (レミダ) | <ul style="list-style-type: none"> アトリエスタ (アート出身の大人、学生：3～6歳に常駐) ベタゴジスタ (教育専門家、たまにチェック) | <ul style="list-style-type: none"> 廃材を置くスペース WSスペース | <ul style="list-style-type: none"> 廃材提供する企業 |
| 学校外の学び・居場所の充実 | | | |
| 放課後アフタースクール (放課後アフタースクール) | <ul style="list-style-type: none"> 放課後マネージャー | <ul style="list-style-type: none"> 学校 | <ul style="list-style-type: none"> 市民先生 →地域の大人、プロ、企業等 プログラム提供する企業 企業CSRのスポンサー |
| 職を通じた探求学習 (探求学習エイスクール) | <ul style="list-style-type: none"> プログラムマネージャー | <ul style="list-style-type: none"> WSスペース (8畳程度) | <ul style="list-style-type: none"> 地域の協力企業 |
| まちなか社会体験 (ちびっこくべ、トライやるウィーク) | <ul style="list-style-type: none"> プログラムマネージャー →連携先との調整 →参加者 (子ども) との調整 | <ul style="list-style-type: none"> 交流広場 | <ul style="list-style-type: none"> 協力企業・職人・プロ →在門真企業・団体、行政など 参加する子ども →学校単位？公募？ |
| Teen' s サードプレイス (茅野市Chukoらんどチノチノ、tette) | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティマネージャー | <ul style="list-style-type: none"> 図書館 複合施設 | <ul style="list-style-type: none"> 複合施設の運営者 |
| 子どもエリマネ | | | |
| まち提案／まちゼミ (茅野市ぼくらの未来プロジェクト/KIITO クリエイティブゼミ) | <ul style="list-style-type: none"> プログラムマネージャー | <ul style="list-style-type: none"> WSスペース | <ul style="list-style-type: none"> 行政課題の提供課 課題提供する民間企業 まちに関心の高い地域の大人 |
| 子ども会議 (茅野市Chukoらんどチノチノ) | <ul style="list-style-type: none"> コーディネーター | <ul style="list-style-type: none"> WSスペース | <ul style="list-style-type: none"> エリマネ組織 複合施設の運営者 |

2) 子どもエリマネのイメージ

子どもの参画がまちに可能性を育む ～子どもを中心とした創発システムによるエリアマネジメント～

創発とは、多様な性質が集まることで、単なる個別の集団を超えた性質が全体として現れることです。
赤ちゃんから中高生まで、子どもを中心に多様な人や団体がつながってまちを運営することで、
子どもに受容性と自律性を、まちに持続性と幸せを育みます。
これによって古川橋を魅力的にし、門真市全体、北河内地域全体の都市ブランドが向上することを目指します。
<子どもを中心としたまちの可能性を育む創発システムのイメージ>



3) 整備方針図



地域の顔となる駅前空間



建物低層部の開放的な設えと歩道空間との一体的な利用



歩道空間の多様な利活用



市街地再生による豊かな居住環境



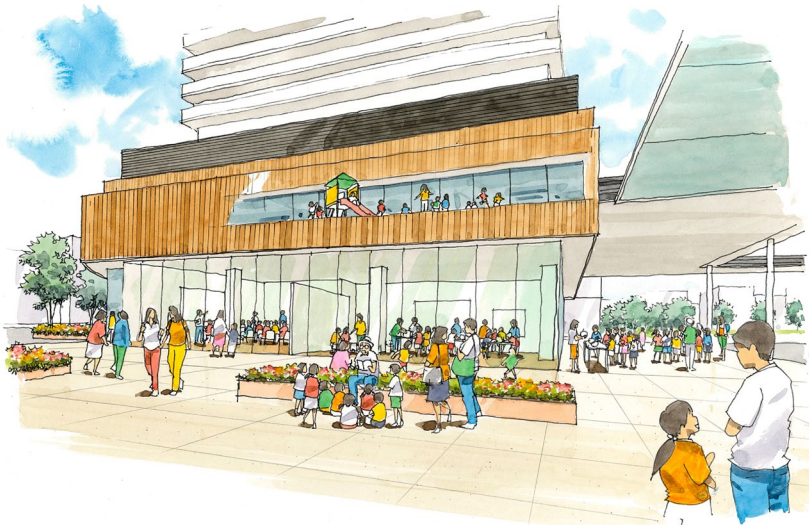
4) イメージ図



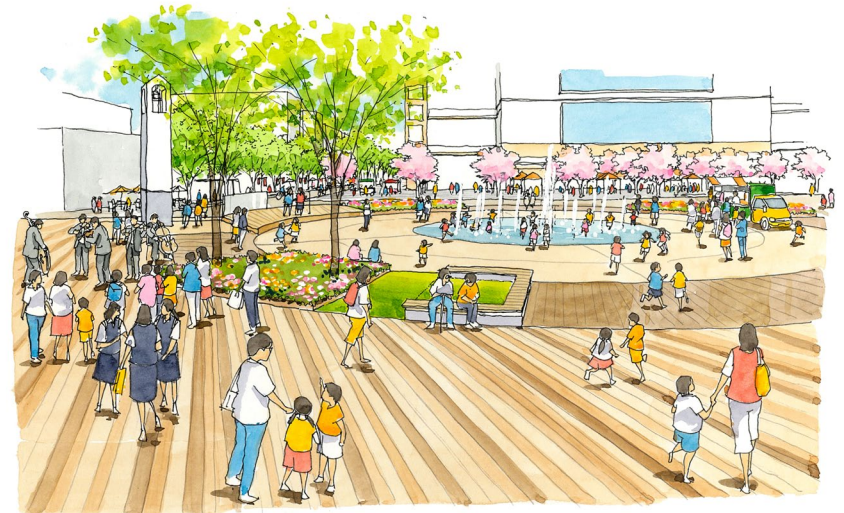
4) イメージ図



駅北交流広場のイメージ

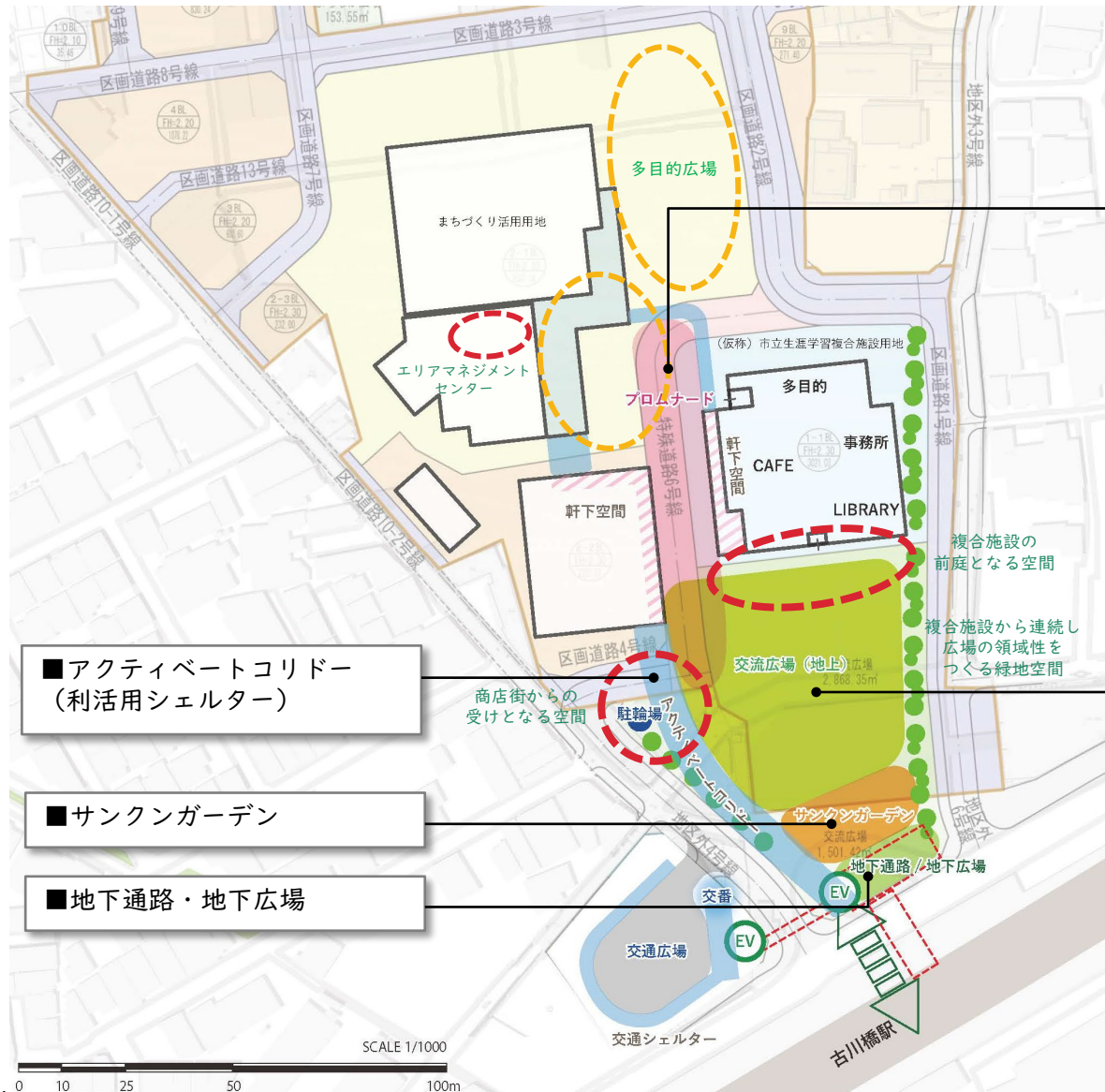


多目的広場のイメージ



駅南広場のイメージ

4) 駅北交流広場の整備イメージ



■ アクティベートコリドー
(利活用シェルター)

■ サンクンガーデン

■ 地下通路・地下広場

■ プロムナード (約1,000㎡)

- ・ 幸福町公園方面へとつづく、気持ちよく歩くことのできるプロムナード
- ・ 生涯学習複合施設テラスと一体的な利活用スペース



出典：たまアリタウンHP

■ 交流広場 (地上)

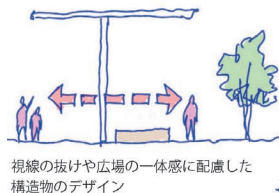
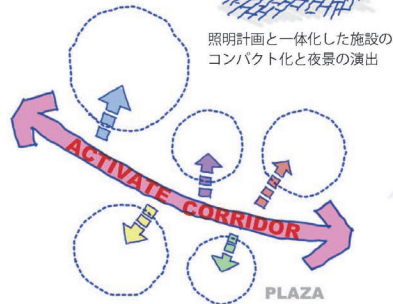
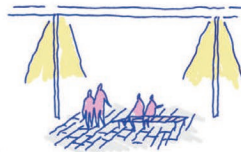
- 〈約3,000㎡/1,500㎡/200~500㎡〉
- ・ 日常的な市民の憩いや交流、多様な活動可能なオープンスペース
- ・ 「古川橋駅前に行けば何かある」という期待感を継続させる日常的なイベント展開
- ・ シンボル空間として街の顔となる大型イベントや祭りなどの場として活用
- ・ 駅施設や商店街、生涯学習複合施設やまちづくり用地活用事業と一体となる前庭空間



4) 駅北交流広場の整備イメージ

■ アクティベートコリドー 〈L=約85m〉

- ・ 広場の多様な活動を促す環境装置
- ・ 交流広場と一体化した、イベントにも利用できる日よけ／雨よけ空間
- ・ 生涯学習複合施設の施設動線とも連続するシェルター



<アクティベートコリドーによるオープンスペースへの展開と利活用イメージ>



全天候型の利活用空間の展開と光や音のインсталレーション装置

■ サンクンガーデン 〈約700㎡〉

- ・ 高低差を利用した落ち着きのある休息空間
- ・ 地下広場と一体となった利活用（コンサート等）



■ 地下通路・地下広場 〈約300㎡〉

- ・ 全天候型のイベント広場空間
- ・ 屋内空間であることを活かした利活用（展示、コンサート等）
- ・ 地上やサンクンガーデンと一体的なオープンスペース



出典：全国まちなか広場研究会HP

4) 駅北交流広場の整備イメージ

■ 利活用方針

- ・「古川橋駅周辺に行けば何かがある」という期待感を継続させる連続的なイベント・利活用の展開
- ・シンボル空間として街の顔となる大型イベント・祭りなどの場として活用
- ・来訪客や地域住民など固定的なファンを定着させる日常的な利活用
- ・日常的に市民の憩いや交流、多様な活動の場となるさりげない工夫・設え

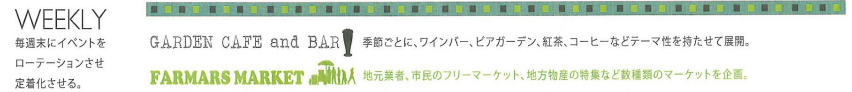
○利活用規模・期間に応じたフレキシブルな利用

○多様な規模に応じた利用領域

- 大規模イベント : 音楽フェスなど → 3000㎡
- 複数日～2・3週間程度、スポーツ・体験系、各種市など → 1000～2000㎡
- 単発(日・時間単位)の日常的利活用: マルシェ、カフェなど → 200～500㎡

■ 利活用イメージ (例)

| | | | |
|-----------------|---|--|---|
| 健康・スポーツ |  | <ul style="list-style-type: none"> ・ テーブルゲーム ・ パークヨガ ・ 3 on 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ スケートパーク ・ グランピング、アウトドアイベント |
| 遊び・文化・レクリエーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ ガーデンカフェ ・ 青空図書館・ライブラリーパーク ・ アート体験「マウンテンジム」 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動遊園地 ・ シネマ上映会 |
| 子ども・多世代交流・人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアと子どもの交流 ・ 子ども体験イベント |  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭・学園祭 ・ 発表会 |
| 食・環境・コミュニティビジネス |  | <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業展示、製品発表会 ・ ケータリングカー |  |
| 季節イベント・まつり | <ul style="list-style-type: none"> ・ 花見カフェ ・ 桜まつり ・ イルミネーション ・ キャンدلアート | <ul style="list-style-type: none"> ・ ハロウィンイベント ・ クリスマスマーケット |  |





4. 進め方

- 1) ロードマップ
- 2) 推進体制

1) ロードマップ

■ 段階的な取り組み・活動方針

活動内容イメージ

取り組み体制

短期

概ね5年後を目途
(2022～2026年度)

- ・活動準備（組織の執行体制の準備、事務局機能整備、コミュニティビジネス立ち上げに向けたシーズ掘り起し、など）
- ・将来ビジョン策定や公共空間のデザイン検討・計画策定
- ・社会実験等のパイロット事業の実施、活動拠点の整備

- ・駅周辺地権者や近隣施設の運営者を主体にエリマネ組織を設立
- ・各種活動を通じて、協働主体の発掘と巻き込み（地元企業など）
- ・子どもエリマネを通じて一般の知り合いや子育て世代の関与を促し、子どもや学生・若い活動家などの参画を進める

中期

概ね10年後を目途
(2027～2031年度)

- ・公共空間の再編整備や民間パブリックスペースの充実、それらを活用した日常利用や各種イベントの展開
- ・エリマネセンター等を拠点とした多方面の活動展開
- ・公共公益施設の管理運営を含めた事業収益の確保やコミュニティビジネスの実施、展開

- ・エリマネ組織の自立化
- ・子育て世帯、高齢者世帯への広がり拡充（まちづくり用地の新規居住者・就業者など）
- ・各種活動を通じて大学や企業と連携して参画を拡張、学生・外国人・就労者などの参画拡充。関係人口への広がり

長期

概ね20年後を目途
(2032～2042年度)

- ・自律的なエリアマネジメント活動の展開
- ・環境デザイン誘導や市街地再生への多面的な取り組み

- ・世代継承（子どもエリマネで育った子が親になって戻る）
- ・市街地の再生やエリアリノベーションにともなうあらたな就労者・居住者等の参画拡充
- ・オープンネットワークを活用した外部の多様な関係者の参加

1) ロードマップ

■ スケジュールイメージ

| | 短期 【2022～2026年度】 | | 中期 【2027～2031年度】 | 長期 【2032～2042年度】 |
|----------------------|---|--------------------------------|---|---------------------|
| | 協議会設立 | 都市再生推進法人設立 | エリアマネジメントセンター設置 | |
| ①子ども中心のエリアマネジメント | 子どもエリマネチーム立ち上げ (アトリアガーデンサロン等での活動) | 交流促進プログラム (組織の自立・活動展開) | 子どもエリマネセンターの設置 学びの場・居場所の充実 | |
| ②オープンネットワークによるつながり | 多様な地域活動の実施 (ペアビルI階暫定利用など) | クラブ活動等 | エリマネセンター等における交流・発信活動の展開 | |
| ③循環型ビジネスや環境教育 | 人材資源・ビジネスシーズ等の発掘 | ビジネス展開 (各種試行等) | (エリマネセンターを拠点とした活動展開) 環境教育・人材育成プログラムの展開 | (事業拡大など) |
| ④ウォークブルによる賑わいや回遊性の向上 | 歩行者空間のデザイン検討・計画 (I期) 《社会実験・利活用の実施》 | 設計・整備 (II期) 官民連携ソフト事業 (II期) | | |
| ⑤市街地の再生 | 区画整理・住市総事業 ガイドライン等の検討 | (都市利便増進協定等) まちづくり用地・交流広場竣工 | (占用特例等) 市街地再生 空き家・遊休地活用事業 | |
| モニタリング指標 (案) | ・幸福度指数 / 歩行者通行量、イベント参加者など / 都市ランキング・住みよさランキングなど / 地価・人口推移など | | | |

2) 推進体制

■ 推進体制（参考）

官民連携エリアプラットフォーム 古川橋駅周辺地区まちなか再生推進協議会

役割 地域課題を抽出して、将来の方向性を協議し、その進捗や実行を管理監督する機関（未来ビジョンの策定・見直し）

構成員 ・門真市、自治会・地域団体、教育機関、商工会議所・地元企業、
・活動主旨に賛同する個人・事業者 など

監査・意見・提言

（仮称）アトリア・サロン 【設立予定】

役割 ・社会性の活動
・子どもの活動の促進

構成員 ・子ども中心のエリマネチームの活動に賛同する個人又は団体

取組 ・子どもエリマネチームの見守り
・情報提供
・地元ネットワークの人的支援

社会的支援
見守り

子ども中心の エリマネチーム

役割 ・子どもの権利主体の活動

取組 ・まちの課題の抽出
・課題解決策の検討・実施
・エリアマネジメントに関する各種事業の実施

事業の
実施・資金支援

課題提言
意見表明

事業提案
意見表明

経済性
ノウハウ等の支援

都市再生推進法人 （仮称）一般社団法人アトリア 【設立予定】

役割 ・エリアマネジメントに関する各種事業の実施

構成員 ・プレイヤーになる個人
・参画する企業
・技術支援や資金提供者、
各種専門家など

取組 ・活動資金調達
・経済性のノウハウの支援

地元ネットワークの
人的支援

2) 推進体制

■ エリアと外のつながり方の考え方の整理 ～取組みの範囲と主体～ (参考)

| | 範囲 | 役割・展開方針 | 推進主体 |
|-------|----------------|--|---|
| 古川橋周辺 | 古川橋駅北開発エリア | <ul style="list-style-type: none"> ・門真市の顔となるメインエリアとして運営 ・民間の事業活動としてエリマネを継続 | 民間：一般社団法人 (個人・事業参加する企業等) 行政：公共施設管理担当部局 |
| | 4小学校区・2中学校区 | <ul style="list-style-type: none"> ・モデルエリアとして官民連携の取組みを先行展開 ・まちづくりの方向性を共有し、エリマネの効果などを評価する | まちなか再生推進協議会 (市関係部局・地域組織・エリマネ法人・地元企業) |
| 門真市 | 門真市全域 | <ul style="list-style-type: none"> ・市域全体への波及効果、コンセプトに沿った展開 | 民間：一般社団法人の会員(地元企業・個人)、一般社団法人の受託業務 行政：市関係部局 |
| 市外 | 北河内(守口・寝屋川・枚方) | <ul style="list-style-type: none"> ・北大阪の活性化につながる、横つなぎの取組み | 民間：商工会議所、一般社団法人の受託業務・連合体など 行政：自治体広域連携 |
| | 全国 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもとまちのエリマネに関心ある企業 ・活動フィールドを求めている大学 | 民間：一般社団法人の事業スポンサー |